02.Configをe2studioでビルド＆書き込み

T-Kernel起動の為の、Configのコンパイル手順について説明する。
ConfigにはT-Kernelの動作設定情報などが含まれており、T-Kernelが起動する時に参照する。

e2studioの起動

「-T-Monitor(ROM版)をe2studioでビルド＆デバッグ」記事を参照。

Configのコンパイル

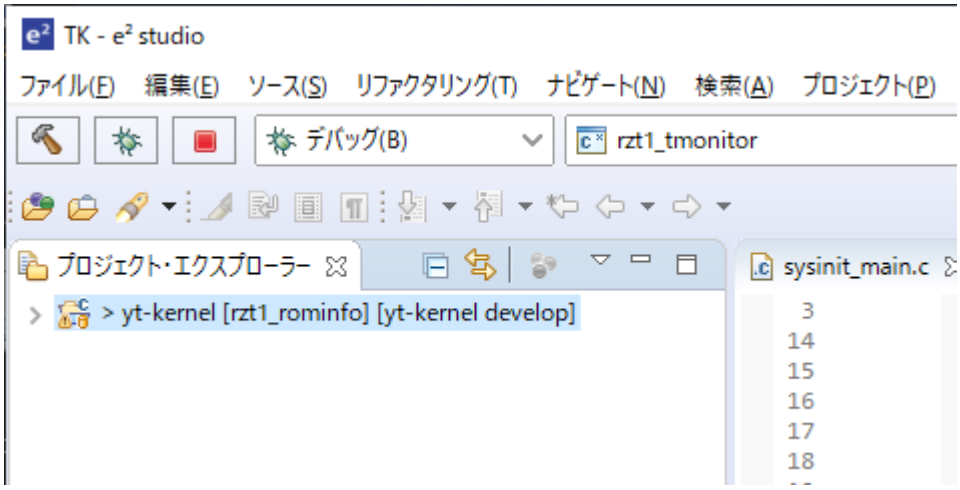
---

yt-kernelリポジトリには、e2studioプロジェクト情報も含み、「ビルド構成」も定義済みであるので選択する。
（もし新しくビルド構成を定義する場合は、「e2studio-project-setup」記事を参照）

1）ビルド構成をアクティブにする

画面左側のプロジェクト・エクスプローラからプロジェクト「yt-kernel」を右クリック

ビルド構成 > アクティブにする から「`rzt1_rominfo`」ビルドを選択。



2）ビルドの実行

画面左側のプロジェクト・エクスプローラで、プロジェクト「yt-kernel」を右クリック。
「プロジェクトのビルド」を実行。

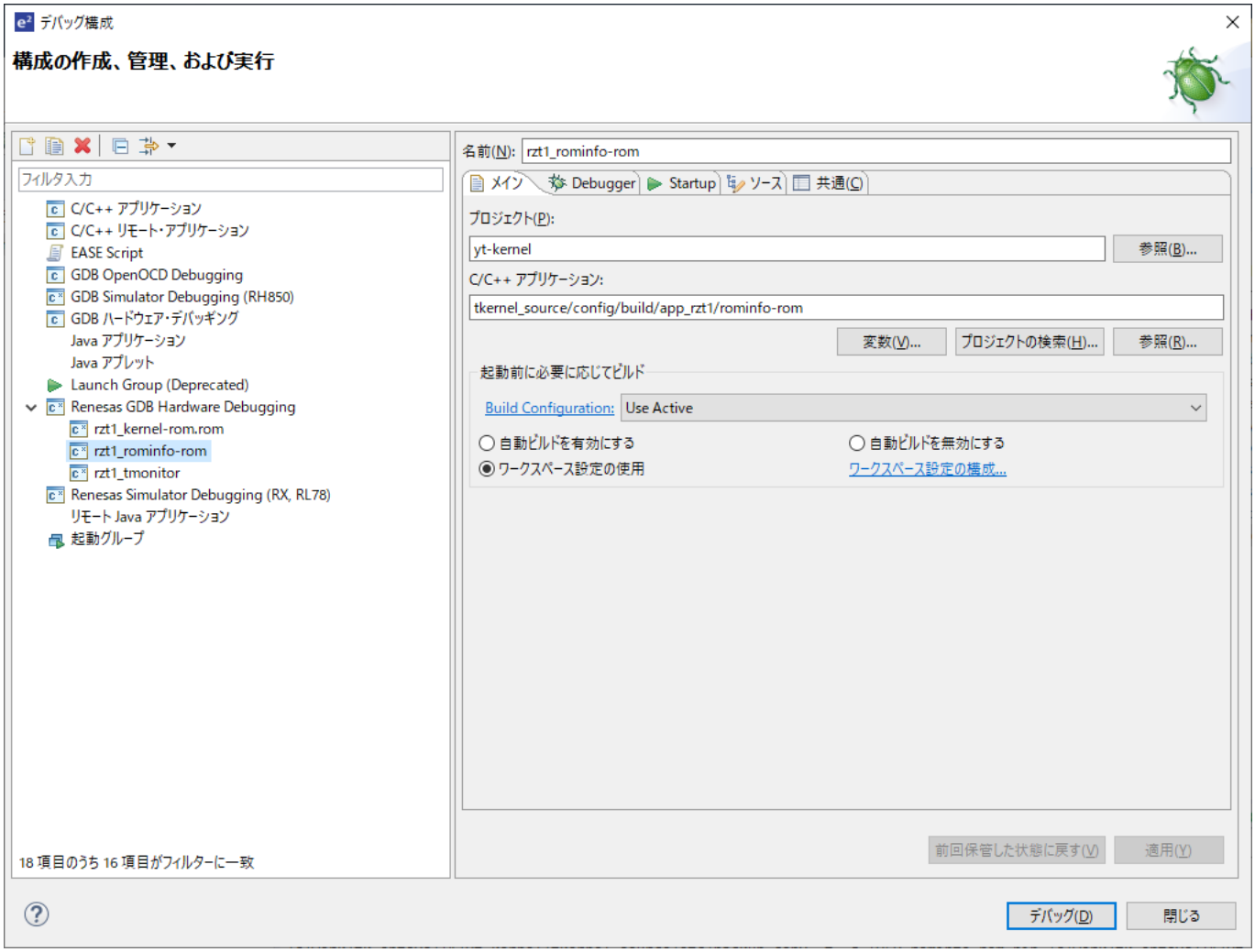
暫くすると右下コンソール画面に完了メッセージ表示（環境にもよるが数分位かかる）

- 本コマンド実行で、ビルドディレクトリで「make」コマンドが実行されている。
- ビルドしたオブジェクトファイルを消すには「プロジェクトをクリーンにする」を実行。この場合は「make clean」コマンドが実行されている。

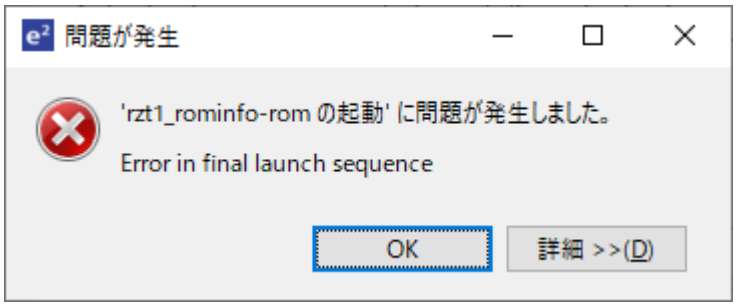
Config情報の書き込み

ビルド完了してバイナリーファイルの所にオブジェクトファイルが生成されたら、**ROM実行版**をJ-Link経由で基板に転送しフラッシュROMに書き込む。
yt-kernelリポジトリには、「デバッグ構成」も定義済みであるので選択する。

画面左側のプロジェクト・エクスプローラ中の、バイナリオブジェクトファイル名を右クリック。
デバッグ > デバッグの構成 で Renessas GDB Hardware Debugging の「`rzt1_rominfo-rom`」を選択し [デバッグ] ボタンを押すとJ-Link経由でプログラム転送されフラッシュROMに書き込まれる。



この時、実行ファイルでないので、下記エラー表示するが無視して [OK] する。



以上で、Config情報の書き込み完了。

補足

---

* ビルド実行時に「[ERROR] No toolchain set or toolchain not integrated.」と表示されるが、気にしなくてもよいみたい。

yt-kernel

From:
https://yokoweb.net/dokuwiki/ - **新石器Wiki**

Permanent link:
https://yokoweb.net/dokuwiki/develop/rtk_kernel/rtk_kernel-rzt1/build/build-e2studio/config-e2studio-build?rev=1578374647

Last update: **2020/01/07 14:24**